

復活節第4週 主日礼拝

2016年4月17日

第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	「CHRIST THE LORD IS RISEN TODAY」	奏楽者
招きのみことば	『詩篇』23篇1-6節	司会者
※開会の賛美	新聖歌23「父の神よ 夜は去りて」	一同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	一同
代表祈禱	司会者
感謝の賛美	新聖歌227「キリストの愛 我に迫れり」	一同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』9章1-41節(新約195頁)	司会者
黙想	一同
メッセージ	「目が開かれた羊」	近伸之牧師
黙想	一同
※応答の賛美	新聖歌359「罪深きこの身を」	一同
感謝の献金	(新聖歌58)	一同
感謝祈禱	片山 勝三兄
諸案内	(来信および集会案内)	司会者
諸報告	(来会者紹介および報告)	近伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌62「御恵みあふるる」	一同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同
※祝福の祈り	近伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会	近伸之牧師	音響・映像	片山 健司兄	CS担当	片山 初子姉
集会	小山 千春姉	録音・操作	山崎 敬典兄	カナン進行	佐藤 鈴子姉
奏楽	近 ゆかり姉	説教の録画	近伸之牧師	掃除	佐藤 鈴子姉

説教メモ

- 1)人は皆生まれながら罪人(原罪)。しかし当時のユダヤ人は、それを病や障がいの人に当てはめていた。
- 2)霊的盲人は、変化を恐れる。パリサイ人は権威を失うことを恐れ、彼の両親は生活を失うことを恐れた。
- 3)イエスの弟子は、世から迫害される。しかし真の牧者イエスは追放された羊を探し出し、牧場で憩わせる。

先週のみことば

「何も思いわずらわないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願いごとを神に知っていただきなさい」(ピリピ4章6節)

今週のみことば

「『主よ。私は信じます。』そして彼はイエスを拝した」(ヨハネ9章38節)

個人、団体からの来信

2016年4月17日

同盟教団より熊本地震について速報および第二報/東京基督教大学より領収証、他/
伊藤 仁宣教師よりお手紙/PBAよりDVD/機関紙『希望』第62号/「ラブ・ソナタレター」vol10/
敬和学園大学より、「生涯学習ガイドブック」と「カレッジレポート」第84号/BEGinより会計報告

先週の集会出席者数

4/10(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性1			
4/10(日)	第一礼拝	男2 女5 計7	4/11(月)	実用書道教室	男2 女4 計6
	第二礼拝	男12 女18 計30	4/11(月)	月曜家庭集会	男2 女3 計5
	(子ども)	男児1 女児5	4/13(水)	新潟山形僚誼会	男4 女5 計9
	夕 拝	男1 女1 計2	4/15(金)	しゃべり場タビタ	男- 女3
			4/15(金)	金曜祈禱会	男1 女3

諸集会のご案内

		※月に一回、実用書道教室を開催。	
4/18(月)		月曜家庭集会是、休会とします。	
4/20(水)	午後7:30	救 禱 会 教会堂	司 会：笹川 清子姉
4/22(金)	午後1:30	しゃべり場タビタ 渡邊智子姉宅にて	問合先：小山 千春姉
4/22(金)	夜	金曜祈禱会 教会堂	

4/24(日) 復活節第5週			
第一礼拝 午前8:00	司 会：近伸之牧師 説 教：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担 当：佐藤 繁実兄		
歓迎礼拝 午前10:30	司 会：横堀 正美兄 集 会：横堀 信子姉 小林 洋子姉 映 像：近伸之牧師	音響・賛美リード：賛美チーム 録 音：山崎 敬典兄 録 画：近伸之牧師	感謝祈禱：片山 勝三兄 掃 除：長谷川睦子姉
主日の予定	第1部 歓迎の賛美、役員就任式、CS教師任命式、進級祝福式 第2部 応答：208 頌栄：198 派遣：54		
	午後2:00より木南姉妹の指導による賛美練習 ※午後4:00より宣教区会議		礼拝堂にて 新潟福音教会にて
夕 拝	※新潟福音教会での宣教区会議に近牧師も出席するため夕拝は休会とします		

報 告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝いたします。礼拝の後は昼食をいただき、午後にはカナン訪問を行います。ひとりひとりの証しが用いられますように。
2. 熊本地震のため
先週末より、熊本県を中心として大きな地震が続いております。亡くなられた方やまだ救出されていない方もおられるようです。被災地と被災者のためお祈りしましょう。
3. 時節の来信
福島県の聖十字架福音教会へ転任された武藤正信先生、性子夫人ご夫妻より便りが届いています。

鍼・灸でいうツボと血液の流れとの関係を全身にわたって調べ医学博士となった長尾栄一さんは、彼が4歳の時に失明しました。研究にあたっての長尾さんの苦労は想像を絶するものがあります。

ある新聞は、彼の栄誉をたたえながら次のように解説していました。

「よく世間には『オレは自分の目で確かめなければ何ごとも信じない』という人がいる。これは、うわさにまどわされないしっかりした人物のように思われるが、実は高慢である。『百聞は一見にしかず』という格言も、その意味では晴眼者の高慢であろう。かえって、見えることが物事に対する正しい判断や理解を誤らせることがある。」

私たちは、神の存在に対しても同じような考えがどこかにないでしょうか。「神がいるなら見せてほしい。神の存在を証明してほしい。そうすれば信じよう」・・・

それでは、お互いの関係は何によって成り立っているのでしょうか。顔がいいからつき合っている、足が長いから友達だ、などと、目に見える外形でおつき合っている人は少ないでしょう。やはり、

心の問題です。いかに真実であり、誠意があるかが問題です。あの人は腹を割らない、何を考えているかわからない、などとも言いますが、しかし、相手がどうであろうと、こちらが誠意をもって近づくと、相手ははつきりしてきます。あなたの真実が、相手を見破る武器になると言ってもいいでしょう。

神への信仰もそうです。私たちがありのままの素直な心で神を求めていく時、神がどのように素晴らしい恵みと祝福に満ちておられるかがわかってきます。

聖書には次のように書かれています。
「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません」
(新約聖書『ヨハネの福音書』4章24節)

先の新聞は、長尾氏についての記事のまじめに、「目に見える私たちは、かえって何かを見失っていることが多いのではないかと」結んでいます。

信仰によって、目に見えないものを確かに見せていただき、神の豊かな祝福の中に入れていただきたいものです。



2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30～6:00 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



とみどころ
4/23(土)「健やかに、朗らかに」富所正史さん

ウォーキング・ランニング講師の富所正史さんは、学生時代クロスカントリースキーに打ち込み国体にも出場しました。その後、小学校教員や大学職員として働き、同時にクロスカントリー選手育成などにも関わりました。

現在は、社会保険労務士として働きながら、「15歳若く見える姿勢づくりと正しい歩き方講座」を、学校や地域の依頼を受けて開いています。

講座の様子を紹介するとともに、お話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

とよさか 豊栄キリスト教会 (牧師 ちか のぶ 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

